

寂静院



数々の相談を振り返って

月に1回(第4金曜日掲 寂静さんにこれまでを振り返り、読者の方のお悩みに返っていただき、感じたこと 尼僧・齋藤寂静さんが回答)などを伺った。

する連載コーナー「寂静 仲人業を営んでいること 院」。約15年にわたり様々もあり、たくさんの人から 悩みにご回答いただいた 様々な相談を受けている寂



面談中の寂静さん

静さん。特に多いのが家族の考えの人はどうしても 間での問題だそうで、「大 行き詰ってしまうことが多い 必要な要因はコミュニケーション。物事を前向きに捉える ション不足。おはよう。お ことで自然と自信もつきま かえり」など簡単なあいさ ず。心地良い人のところに つだけでもいいので、毎日 人は寄ってきます」と強調 の会話がとても大切。特に する。小学校で読み聞かせ 夫婦間で」と話す。多くの ボランティアもしている寂 人に伝えてるのが、過 静さんは、子育てに関して 去や相手は変えられない ころ話す。「最近の子を私 が、未来と自分を変えられ 物化している親が多いよう る」という言葉。「後ろ向

に感じます。子どもはお 預かりして社会にお返しす るもの」です。何もかも親 が決めつけてしまうと、子 どもの可能性を狭めてしま う。親は色々なきかけ作 りをしてあげるだけでいい んです」

日頃のカウンセリングの なかで特に大切にしている 言葉が『人生は縁の結び 方』。「これはすごく重要。 私も一度結んだ縁は大切に し、悩みが解決した人にも、 また何かで悩んだり疲れた りしたらいつでも私のところ に来てほしいと言っています。大海原に漂う渡り鳥 が羽を休める止まり木って あるでしょ。私も人生の止 まり木のような存在であり たい」。これからも多くの 人の悩みに寄り添ってい く。

寂静さん(090・90
11・7497)